

会議録（案）

会議の名称	社会教育委員の会議（9月定例会）
開催日時	令和7年9月19日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：川原議長、松本副議長、伊尻委員、岩穴口委員、大宮委員、小野委員、河野委員、高橋委員、田口委員、堀田委員 事務局：鬼頭地域学習推進係長、齋藤主任、野田主事、石島主事
議題	(1) 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修について (2) その他
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1） 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修について

●議長：本日議論して決定する事項は、第4ブロック研修のテーマ名と、ブロック研修の第2部グループディスカッションに関する下記①から⑤の、計6項目である。

1. 第4ブロック研修のテーマ名
2. ①ディスカッションのゴールの設定
3. ②グループディスカッションの時間配分
4. ③ディスカッションの結果を誰にどのように発表してもらうか
5. ④第4ブロック各市参加者のグループ分け
6. ⑤ファシリテーターのペア決め

●議長：本日の議論はまず「①ディスカッションのゴールの設定」を決定し、そのゴールから外れないように「第4ブロック研修のテーマ名」を決め、その後に②から⑤を決めることがしたいが、その方針でよろしいか。

一同異議なし

<①ディスカッションのゴールの設定>

●議長：事務局の想定から、グループディスカッションのゴールは、議論の時間の長さに応じて下記1から4が想定される。

1. 下野谷遺跡を通した地域のつながりづくりの取組のポイントを考察し共有する
2. 他市で実践している取組の例の紹介
3. 今後やってみたい取組を話し合う
4. 新たな地域のつながりづくりの方法を考える

●議長：上記2で議論が終わってしまうのはもったいないと思うが、何か意見はあるか。

○委員：上記3、4まで議論しないと研修会の意義がないと思う。

- 議長：例えば、遺産や祭りなど題材は異なっていても、つながりづくりにおいて実施している
しかけ（取組）は、他の市の題材に応用できると考える。新たなつながりづくりを考えること
はハードルが高いので、取組を共有して持ち帰るだけでも十分であると思う。
- 委員：各市で戦略をもって取り組んでいるはずなので、主体的にどのように取り組み、他の人たち
を巻き込んでいるのかを知りたい。
- 委員：議論のゴールに関しては、スムーズな議論のために他市にも公開した方が良い。
- 委員：我々がファシリテーターとしてどのように意見を引き出すかにも関わってくると思う。
- 委員：議論について、「各市で事例紹介をして、それぞれヒントを持ち帰り考える。」としないと
45分以内には到底おさまらないと思う。
- 議長：ゴールについて、これまでの意見を取り入れて下記を提案したいが、何か意見はあるか。
【つながりづくりのしかけを共有し持ち帰る】
- 委員：「しかけ」ではなく、「ノウハウ」としてはどうだろうか。
- 議長：委員各位の意見を踏まえて、「①ディスカッションのゴールの設定」は以下にしたいと
思うがよろしいか。
【つながりづくりのノウハウを共有し持ち帰る】
- 一同異議なし
- <第4ブロック研修のテーマ名>
- 議長：テーマ名について、これまでに委員各位から出ている案は下記の通り。統一テーマも踏まえ
ると「地域づくり」がキーワードになると思う。ここに「下野谷遺跡」を入れるか、あるいは
「地域文化（財）」等とするかは議論が必要。
- 助言：「つながる」ことと、そのつながりを「ひろげる」ことを研修の内容とすること、
それを反映した研修テーマ名にすると良い。
- 案1：地域の遺産を大切に
～見て、調べて、知って、つなぐ！～
- 案2：下野谷遺跡をきっかけとした地域のつながり
～縄文から現代そして未来へ～
- 参考：統一テーマ名
「つながり、関わり合い、ともに創造する地域の未来
～身近な課題を自分ごととして考えよう～」
- 議長：例えば、上記案を組み合わせて下記を提案したいが、何か意見はあるか。
【地域の遺産をきっかけとした地域づくり】
- 委員：「遺産」という言葉が引っかかる。例えば、文化にはその地域で続いている祭りなども
含まれるため、「地域文化」とすると良いと思う。
- 委員：文化や伝統も含めて「遺産」にあたるとは思うが、もっと広義にするために「遺産」から
変えてても良い。ただし、議論が発散しないように、サブテーマで議論のポイントを絞るべき
だと思う。

○議長：テーマ名について、統一テーマ名やディスカッションのゴール、およびこれまでの意見を取り入れて下記を提案したいが、何か意見はあるか。

【地域文化をきっかけとした地域のつながりづくり
～身近な取組からノウハウを考える～】

○委員：「身近な取組」だと、「身近」がどこまでのことを指すのか分からず。
「各市の取組」とするのはどうか。

○委員：市が主体の取組なのか、地域の参加者が主体の取組なのか明確にするために、
「各地域における取組」とするのはどうか。

●議長：委員各位の意見を踏まえて、「第4ブロック研修のテーマ名」は以下にしたいと思うがよろしいか。

【地域文化をきっかけとした地域のつながりづくり
～各地域における取組からノウハウを考える～】

一同異議なし

研修のテーマ名およびディスカッションのゴールについては
事務局側で確認後に再度委員各位に提示し、それで問題なければ確定とする。

<②グループディスカッションの時間配分>

●議長：時間配分について、何か意見はあるか。

○委員：発表時間を2分としても、8グループで発表だけで16分かかる。とても45分で議論含めて終わらないと考える。

○委員：ディスカッションとそこから得たヒントを持ち帰ることが大事だと思う。私が参加した他の研修では、グラフィックレコーダーを使いディスカッションの結果を共有していた。
本研修会でも、グラフィックレコーダーを使って発表時間を削れば良いと思う。

○議長：グラフィックレコーダーを用意することは難しい。パソコンを8台用意し、録音および文字起こしをするのはどうか。

○事務局：パソコンを8台用意することは難しい。

○委員：私が参加した学会では発表はなかった。代わりに紙の様式を作つておいて、そこに議論の結果等を記入し、後日印刷をして配布していた。

●議長：委員各位の意見を踏まえて、議論の結果は2、3行で様式にまとめて後日配布とする。
また、発表はファシリテーターから印象に残った事例（ノウハウ）を1分程度で端的に発表する、としたいがよろしいか。

一同異議なし

詳細に関しては、次回の10月定例会にて再度議論することとする。

<③ディスカッションの結果を誰にどのように発表してもらうか>

●議長：結果の発表について、事務局の想定を共有してほしい。

○事務局：これまでのブロック研修会では、各市の理事者（社会教育委員会の議長および副議長）が発表していたケースがあった。当市もそれにならうことを想定している。

○委員：私が参加したブロック研修会では、あらかじめ発表者（各市理事者）が決まっており、全体に呼び掛けて誰も手が挙がらなければ、その人が発表をしていた。

●議長：委員各位の意見を踏まえて、各市の議長および副議長が必ず入るようにグループ分けを行い、その人に発表もらおう。もし発表を断られた場合は別の人とする、としたいと思うがよろしいか。

一同異議なし

○議長：なお、事務局には、ブロック研修会の各市の参加者名簿を作る際、各市の議長および副議長が分かるようにしてほしい。

<④第4ブロック各市参加者のグループ分け>

●議長：グループ分けについて、市ごとにグループを分けてしまうと、その市とファシリテーターである西東京市の2市の事例しか持ち帰ることができなくなる。
したがって、各市混在でグループ分けしたいと思うがよろしいか。

一同異議なし

<⑤ファシリテーターのペア決め>

●議長：グループディスカッションのグループ数について、参加人数によるが、最大8グループとなる。ファシリテーターとして、継続委員1名と新規委員1名で1ペアとすると、1ペアは継続委員が足りなくなる。こちらは事務局から充てたいがよろしいか。

一同異議なし

○委員：研修会は平日なので、教職員の委員は参加できない可能性が高い。

　ファシリテーターが継続委員1名だけになる場合も想定しておくべきだと思う。

○委員：1人でファシリテーターができるかは、ファシリテーターの役割にもよる。

○議長：ファシリテーターは2人いた方が、議論が詰まったときに話をふったり、西東京市側から提案したりすることがやりやすくなる。

○委員：議長がファシリテーターになると、全体の進行を見ることができなくなる。議長にはむしろ会場を回っていただき、議論が詰まっているグループをヘルプしていただく方が良いと思う。

●議長：私が抜ける代わりに、事務局からもう一人ファシリテーターを選出してほしい。
その他、新規委員の振り分けについては事務局に一任したいと思うがよろしいか。

一同異議なし

本ペア決めは研修会の参加人数にもよるため、事務局側で参加名簿を作成した後、
再度ペアの組み合わせを委員各位へ提示することとする。

○議長：事務局には、本日の定例会で挙がった、次回の10月の定例会のファシリテーター研修において、再度議論が必要な項目について整理してほしい。

○事務局：次のファシリテーター研修で議論する項目は下記の通り。

1. ファシリテーターとして、参加者からどのように意見を引き出し、議論を進めていくかについて
2. 各市の参加者名簿を元に、各市の議長および副議長を含めたグループ分けの検討
3. グループディスカッションの結果のまとめ方（様式）、および発表方法の詳細について

議題（2）その他

●事務局：次回の10月定例会について、委員各位には東伏見市民集会所に集合いただき、その後下野谷遺跡に移動し遺跡見学を実施する。

●事務局：「第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会」の参加者を2名募りたい。

議長、副議長は参加不可のため、他に参加可能な委員は9月26日（金）までに事務局まで連絡してほしい。

次回会議

日時 令和7年10月24日（金）午後2時

場所 東伏見市民集会所、下野谷遺跡